今年は健田須賀神社を会場に結城家をテーマにしたライトアップイベントを開催します。

1月24日(土)・25日(日)・31日(土)は特別企画も開催！

●結城家ゆかりの地巡りツアー、講話会、パネル展示　●出展イベント(出展イベントのみ午後4時から開始)

【共　　催】結城市、結城市観光協会

【問合せ先】市観光協会事務局(市商工観光課)　TEL 34-0421

詳細はコチラ

〈発行情報〉

■広報結城　令和8年1月号

発行日／令和８年１月１日

発　行／結城市　編集／総務部秘書課

〒307-8501 結城市中央町二丁目３番地

TEL 0296-32-1111　FAX 0296-54-7009

https://www.city.yuki.lg.jp/

〈QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です〉

結城市ホームページ

広報の感想・意見

子どもたちに 考える力を 育てる そろばん

年長さんから

金子珠算研究会

さんすうによくなる

体験学習・受付実施中

一緒に入会

一緒に進級

〈週2日制：月・水・土の内2日〉

〈アクロス 北側〉結城中央教室

TEL 0296-32-8080

社会医療法人社団　同樹会

結城病院

知識と技術をもって治療し心をもって癒す

理事長・院長　大木　準

TEL：0296-33-4161

FAX：0296-34-8008

介護老人保健施設　あんしん

入所・短期入所（100名）

通所リハビリ（100名）

【電話】0296-33-0880

（結城病院敷地内）

〈市の人口／49,075人(男：24,998人、女：24,077人)21,788世帯(12月1日現在)〉

みんなの想いを 未来へつなぐ 活力あふれ 文化が薫るまち

広報 結城市 YUKI CITY

2026 1 Vol.772

PHOTO：総合防災訓練

特集　**新年のごあいさつ**
令和8年新春座談会

6～7ページ間に、お知らせ版1月号が挟まれています。

結城市公式SNS

LINE　X　YouTube

令和8年 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、結城紬がユネスコ無形文化遺産登録15年の節目を迎えました。先人から受け継いだ伝統技術や文化を後世に継承するとともに新たな商品開発など、産業としても未来に繋がるような施策を関係者とともに進める決意を新たにしたところでございます。

また、本市出身の柏原正樹氏の「アーベル賞」受賞というニュースは、数学界はもとより本市にとっても大変名誉な出来事になりました。一方で、9月3日には「記録的短時間大雨情報」が発表され、1時間に120㎜という猛烈な降雨で車両水没などの被害が発生しました。改めて関係機関との連携、自主防災組織育成の必要性を感じたところです。

令和8年は、これまで展開してきた「新3K宣言」を具現化していく年であると考えております。

健康では、特定健診・特定保健指導を推進するとともに県医療福祉制度を市が独自に充実させ、妊産婦および0歳から18歳までの医療費の無償化を実施してまいります。

経済では、「結城第一工業団地繁昌塚南地区」の整備を着実に進めるとともに雇用拡大や経済効果を念頭においた企業誘致にも尽力してまいります。

教育では、子どもたちの可能性を引き出せるような環境整備を進めるほか、有機食材を活用した学校給食の推進や返済不要型の奨学金制度の充実などに取り組んでまいります。

これら3つの柱を総合的に推進し、「結城に住みたい・住み続けたい」と思われるような希望に満ちたまちづくりを進めてまいります。

結びに、今年一年が皆さまにとって実り多い一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

結城市長　小林　栄

結城市役所から望む筑波山

心が動けば、まちも動く

音楽が紡ぐ結城の未来

令和8年 新春座談会

東京室内管弦楽団×結城市長

ヴァイオリン 根来 由実

ヴァイオリン 中村 備生

結城市長 小林 栄

チェロ 石川 理史

ヴィオラ 河野 理恵子

人生のさまざまな場面において、「音楽」に勇気づけられた、影響を受けたという経験がある方は多いのではないでしょうか。今回、市内小中学生を対象とした「音楽鑑賞教室」や市役所を会場とした「ランチタイムコンサート」にて協力いただいている東京室内管弦楽団の皆さんをお迎えし、「文化の薫るまち結城」実現に向けて、音楽を通じたまちづくりなどについて意見交換しました。

新春に響く、文化の対話

令和7年11月18日ランチタイムコンサートの様子

小林市長
大変お忙しいなか、結城に来ていただきありがとうございます。「文化の薫るまち結城」をコンセプトにまちづくりを進めていますが、音楽文化については、東京室内管弦楽団の皆さんにご協力をいただきながら、音楽を通じて、まちのにぎわいや郷土愛を育んでいきたいという思いがあります。ぜひ、音楽とまちづくりについてアドバイスなどをいただければと思います。

中村さん
結城市とは、令和3年度に市民文化センターアクロス開館30周年記念として医療・介護従事者向けに実施した「名曲コンサート」をきっかけに、「ファミリーコンサート」や小中学校の「音楽鑑賞教室」や市役所を会場にした「ランチタイムコンサート」を行っています。

小林市長
「音楽鑑賞教室」を拝見し、本物の音楽を市民にも聴かせたいと思い、「ランチタイムコンサート」を提案させていただきました。
ちなみに市役所の庁舎でコンサートを行っている所はありますか。

中村さん
札幌市庁舎でロビーコンサートを行っているという話を聞いたことがありますが、私たちが自治体や関連団体の依頼で演奏に伺うのはショッピングモールなどが多いです。東京都は交響楽団があるので、都議会前に四重奏などの形式で演奏を行っているようです。「ランチタイムコンサート」は２回目の開催になりましたが、多くの方に足を運んでいただきました。演奏が進むにつれ、だんだん観客が増えてきました。音楽を楽しむ輪が徐々に広がっていく…このような形が一番よいですね。

小林市長
皆さんは色々な地域で演奏をされていらっしゃいますが、音楽で面白い取り組みをしているという場所などありますでしょうか。

河野さん
藤沢市民オペラ（神奈川県藤沢市）でしょうか。
1973年に藤沢市民会館開館5周年事業として、プロのソリストとアマチュアのオーケストラ・合唱団が共演する形式の日本初の市民オペラとして発足しています。私の母もオーケストラとして参加していました。市民の中から公募して選んで、市民の手作りで作っていくというのがすごかったですね。

小林市長
それはすごいですね。実はアクロスにもオーケストラが入るピットがあり、結城市民劇団の公演で初めて使用したと聞いています。結城では、市民オーケストラはないですが、合唱をやっている市民や吹奏楽団があるので、そんな風に盛り上がったらうれしいですね。

河野さん
今後、弦楽器人口が増えて市民オーケストラが生まれたら、結城で市民オペラもできるかもしれません。音楽鑑賞教室やランチタイムコンサートなどをきっかけに、そうした動きがが出てくるとよいですね。

小林市長
本市出身の音楽家として、ジャズピアニストの宮本貴奈さん、また、東京室内管弦楽団に加藤美菜子さん（ヴァイオリン）が所属されていますね。今後、子どもたちが成長をしていくなかで、人生の選択肢の一つに「音楽関係」が挙がるような風土を作りたいと考えています。

音楽鑑賞教室について

石川さん
地域によって文化格差が起きていると思います。結城市では音楽鑑賞教室を始めて3年目となりますが、鑑賞教室をやめる自治体がほとんどで始める自治体はなかなかありません。子どものうちにさまざまな物を見たり、聴いたり、触れたり、本物を知ることによって、色々な感性というのが育まれるのではないかと思います。

中村さん
私が教える中学生、高校生の生徒が修学旅行で京都に行くのですが、その時は京都の美しさがどこまで心に残っている分からない。だけど、私たちがこの年代になって行くとその良さが見えて感動する。これは幼いながらも「感動の芽」が心に根付いたからこそ覚える気持ちなのだと思うのです。コンサートや鑑賞教室も同じで、仮に眠ってしまったとしても細胞の中に体の中にしっかり根付いていく。あの時は何も思わなかったけれども、大人になって聴いてよかったなという感動を覚えるためには、やはり幼い時の記憶や感動の蓄積がすごく大事なのだと思います。

小林市長
私が初めて生のクラシックコンサートを聴いたのは18歳の時。田舎暮らしだったので、そういった機会があまりなく（笑）初めて聴いたとき、すごく感動した経験があります。こうした経験を小さな時から体験させてあげられたらいいなという思いがずっと頭にあって。子どもたちには色々な可能性があるわけですし、その可能性を大切にしたいなと思って、小中学校の音楽鑑賞教室を始めた経緯があります。

中村さん
そうでしたか。事業が始まったきっかけを知れてうれしいです。教育という観点でいくと、子どもたちの想像力を育むのに音楽はよいと思います。音楽は目には見えません。楽しい春の雰囲気や恋人に想いを告げられるなど作曲家が伝えたいものを私たちは演奏で届けますが、その情景は音からその人自身が想像することになります。最初から想像することは難しいので、音楽鑑賞教室などでは曲の解説をしたり、詩を読んだりしています。これにより、子どもたちの中で世界を想像する下地ができて、その後に音楽を聴いてもらうことで、音楽が表現している景色が見えるのではないかと思います。私たちも演奏するときにはイメージがないとできないので、そのイメージを子どもたちにも持たせてあげるような演奏会を目指しています。

音楽が地域を繋ぐ ― 部活動の地域移行 ―

小林市長
近年、部活動の地域移行という話が出ていますが、音楽家の皆さんの周りでもそのような話は話題に挙がりますか。

根来さん
少子化と教師の労働条件改善などの要因から、部活動が統合されて、吹奏楽部や合唱団が全国的に少なくなってきていると伺っています。大都市であれば学校単位が無理でも区や市単位での活動が可能ですが、地方都市だとそれも叶わず、大人が参加している市民吹奏楽団へ子どもたちが参加するような形も出てきているようです。顧問の先生が指導をするという形ではないため、私たちのような専門家が教える機会が今後増えてくる可能性があると思います。

小林市長
市民吹奏楽団と一緒に活動するといった事例もあるのですね。今後、音楽が好きで吹奏楽をやりたい、有名な高校で活動をしたいという子どもたちの夢を繋げるためにも、吹奏楽をはじめとする部活動の地域移行の仕組みを作っていけたらと考えています。

河野さん
現在、茨城大学の管弦楽団サークルを教えているのですが、水戸では小学生が中心のジュニアオーケストラがあり、大学生も手伝って、小学生の面倒を見ながら一緒に演奏しています。サークルに入って大学で始めたという方も結構いるので、初心者の方も多いのですが、小学生に教えたり、一緒になって楽しそうに演奏したりしています。

【音楽鑑賞教室】

【ファミリーコンサート】

小林市長
　ジュニアオーケストラというのは大会やコンクールなどはあるのですか。

河野さん
　年に１回のコンサート（演奏会）に向けての活動になります。大会や競争という面では、吹奏楽部も二極化するのではないかと思います。いわゆる強豪校に入学して大会を目指すパターン、市民楽団のような地域単位のクラブに所属して定期演奏会を目標として音楽を楽しむパターンなどです。

根来さん
　昔は「なんとなく友達と一緒の部活に入る」という方もいたと思うのですが、地域移行すると「自分が本当にやりたいから入る」形になるため、個人化の傾向が強くなりそうですね。今は、YouTubeなどで調べられる時代ですし、音楽をやりたいと思った子があまり金銭的な負担がなく受け入れられるような環境があればと思います。特に、楽器については個人だと購入しなければ始められないという部分があるので、最初の一歩は踏み出しやすい環境が必要なのではないかと思います。

河野さん
　私が教えている所ですと、楽器は学校で持っている所が多いです。管弦楽部がある小学校はヴァイオリンを何台か持っているので、家で練習できなくても、学校に行って学校の楽器だけで練習している子もいます。

小林市長
　まずは、個々の負担を軽減できるような環境づくりが課題ですね。最初の一歩という部分では、文化センターアクロスでは小学生を対象にしたヴァイオリン体験教室などを開催していますが、演奏家としての視点でよいご提案はありますか。

根来さん
　コンサートの後に、子どもたちに本物の楽器を触れる機会を設けるといった形であれば私たちもご協力できるかもしれません。

小林市長
　ファミリーコンサートでは指揮者体験も好評でしたので、楽器体験もできたら面白いかもしれませんね。

芸術の力で未来を紡ぐ

小林市長
　ところで、「文化センター創立」を最終目標に掲げ、音楽でまちを盛り上げたいという若者たちがいたことをご存じでしたか。約４０年前になりますが、青年会議所という団体が鹿窪運動公園を会場に音楽を核とした NOPPE 祭りというイベントを開始し、野外コンサートなどを続けた結果、市民の中で音楽文化の機運が高まり、文化センターアクロスの創立の一助となったという話です。
　実は、私もその青年会議所の一員でして…私にとって音楽を核としたまちづくりというのはそのころから始まっています。現在、音楽とまちづくりという観点では、一般社団法人MUSUBITOが企画して、まちなかで「結のおと」という、お寺や古い酒蔵を会場とした音楽イベントが、まちおこしの一環として開催されています。

石川さん
どんな方が来るのですか。

小林市長
　若者の世代では知られたアーティストも出演していて、後にテレビで拝見して「こんなに有名な方だったの」と驚くこともあります。お客さんとしては、若い方が多くいらっしゃいますね。結城にこんなに若い人がいたのかと思うほどたくさんの方が来ます。
　「結のおと」は一例になりますが、クラシックやジャズも同じように皆さんに親しんでいただけるような音楽のまちを作っていきたいと思っています。

石川さん
　クラシックを聴いたことがない方が、いきなりコンサートに行くというのは結構ハードルが高いと思います。日常生活の中に…例えば、駅や商店街でクラシックが流れているような環境づくりも必要だと思います。その上で、いつも流れている BGM かと思ったら、本物のオーケストラが演奏しているなんてサプライズ的なイベントをしてみるのも面白いと思います。

小林市長
　それは面白いですね。ランチタイムコンサートもお昼休みに市役所に手続きに立ち寄ったら、一流の音楽家が演奏しているのですから、ある意味、サプライズイベントですね。

石川さん
　私たちは人前で弾くのが仕事なので、サプライズであっても、初めて聴いたオーケストラが東京室内管弦楽団で、ファンになっていただけたら互いによい方向に進むのかなと思います。

根来さん
　話題になる音楽祭のように最初から規模をあまり広げなくても、先ほどお話ししたコンサートと楽器体験を併せたイベントを開催するのもよいかと思います。また、音楽の力を使って結城をPRするという切り口なら、結城紬を身につけてコンサートを行ったり、結城市の民話などストーリーに合わせたコンサート、県内の演奏家の皆さんとコラボレーションをしたりなどもできるのではないでしょうか。

中村さん
　東京室内管弦楽団では茨城県の民謡「磯節」をオーケストラにアレンジして演奏したこともあるので、「磯節」でコラボレーションするのも面白いかもしれませんね。

座談会を終えて

小林市長
　教育からまちづくりまで、さまざまな切り口から音楽について話をお聞かせいただきありがとうございました。
　私は可能性を秘めている子どもたちに、さまざまなチャンスを与えたいと思っています。その一つが音楽鑑賞であったり、自然体験であったり、インターネットの世界だけでは分からない、リアルな経験を積ませてあげたいと考えています。
　子どもたちの才能を開花するためのきっかけづくりや選択肢を一つでも多く作ってあげるのが、私たち大人の責務だと思っています。
　また、人口減少が進行している中で、シティプロモーション活動が重要だと考えており、本市が持つポテンシャルをフル活用し、音楽や歴史、結城紬をはじめとする着物など、いろんな分野の結城ファンを増やしたいと考えています。
　その一つに、クラシックを含めた音楽があって、文化センターアクロスについては「中学生の時にコンクールに出場してよい演奏ができた」とか「幼い頃のファミリーコンサートが感動的だった」とか、訪れた人たちの記憶に「アクロス」という記憶が残り、大人になってから「結城に行ってみよう」と思ってくれるような、行政用語でいう「関係人口」となり得るのではないかと思うのです。中村さんがおっしゃっていた「感動の芽」と同様ですね。
　今般、音楽分野におけるサプライズイベントやコラボイベントなどのアイデアもいただき、大変、有意義な対談をさせていただきました。
　音楽によって市民の人生に潤いをもたらすことができるよう、また、音楽がきっかけで「結城に住んでよかった」「結城に行ってみたい」と思ってもらえるようなまちづくりを行っていきたいと思いますので、引き続き、お力添えをお願いします。
　本日は本当にありがとうございました。

東京室内管弦楽団 プロフィール

中村 備生（なかむら そのう）さん
3歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園付属「子供の為の音楽教室」を経て、桐朋学園大学を卒業。東京室内管弦楽団理事、第二ヴァイオリン副首席奏者。

根来 由実（ねごろ ゆみ）さん
湘南白百合学園小・中・高等学校出身。東京藝術大学卒業。2021年に東京室内管弦楽団のコンサートマスターに就任。第一ヴァイオリン奏者。

河野 理恵子（こうの りえこ）さん
東京藝術大学を卒業。神奈川フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務めた後、多方面のジャンルで幅広く演奏を行っている。東京室内管弦楽団首席ヴィオラ奏者。

石川 理史（いしかわ まさし）さん
米国にてノースショア音楽学校に在籍。帰国後、桐朋学園大学を卒業。コバケンと仲間たちオーケストラ首席チェロ奏者、東京室内管弦楽団チェロ奏者。

結城市出身の演奏者

加藤 美菜子（かとう みなこ）さん
結城中学校出身。
東京室内管弦楽団ヴァイオリン奏者。

YUKI TOPICS

ゆいトピ

市内の出来事や話題などをご紹介します。

全国学校給食週間

1月24日から30日までは、全国学校給食週間です。

学校給食の意義や役割についての理解を深め関心を高めるため、市では明治、大正、昭和、平成時代に登場した給食を提供します。

災害に備えて、総合防災訓練

11月30日、鹿窪運動公園をメイン会場として、総合防災訓練が開催されました。

自主防災組織や近隣市町、消防署、消防団、協力団体が参加し、屋内外でさまざまな訓練を行いました。

市民の手作り、イルミネーション輝く

市内高等学校生徒会や鬼怒商業高等学校、城南小学校の児童生徒が装飾・取り付けをしたイルミネーションが、12月1日から結城駅北口および南口の一部で点灯しています。

また、12月6日には結城駅前イルミネーション実行委員会主催のイベントが行われ、結城吹奏楽団と結城第一高等学校、鬼怒商業高等学校の吹奏楽部による演奏など、来場者は光との共演を楽しみました。

第56回結城市農業祭

11月15日に、結城市農村青少年クラブ主催のもと、けやき公園噴水広場で開催されました。北つくば農業協同組合主催の結城農業まつりと合同開催され、会場は多くの人でにぎわいました。

年末交通安全キャンペーン

～自分から つけるライトで 消える事故～

11月29日に、市役所駐車場で年末の交通事故防止運動式典を開催しました。その後、アクロス前交差点において啓発品の配布を行いました。

第58回全国優良読書グループ表彰

《 ゆうきおはなし会 》

読書推進運動の進展と図書館の利用促進に寄与する、意欲的な実践を継続している団体として優良読書グループ表彰を受けました。

茨城県表彰

塚原姉妹
（塚原ゆかりさん・塚原ひろ美さん）

長年にわたる伝統音楽の継承や結城紬の魅力発信など、県の文化・観光の振興に貢献したとして功労者表彰を受賞しました。

〈 火災警報が発令されると火の使用が制限されます 〉

火災警報は、消防法第22条に基づき気象の状況が火災警報発令基準に該当し、かつ火災の予防または警戒上、必要であると認められる場合に発令されます。

火災警報発令基準（筑西広域市町村圏事務組合火災予防条例施行規則第3条）

❶ 実効湿度60%以下及び最低湿度40%以下で平均風速7m以上またはこれを超える見込みのとき
❷ 平均風速10m以上の風が1時間以上連続して吹く見込みのとき

火災警報が発令されると、火災予防条例に基づいて下記のとおり火の使用が制限されます。
（筑西広域市町村圏事務組合火災予防条例第29条）

山林、原野に火入れをしない

打ち上げ花火を行わない

野外で火遊びや焚火をしない

火災が発生しやすい場所で喫煙しない

煙草などの灰や火の粉を始末する

火災警報発令中に、火の使用の制限に違反した場合、消防法第44条の規定により30万円以下の罰金または拘留に処されることがあります。

火災警報発令時は、CATV生活安全情報メールや市公式SNS、防災行政無線を確認ください。
そのほか火災警報の詳細は筑西広域市町村圏事務組合のホームページをご覧ください。

問 筑西広域市町村圏事務組合消防本部管理統制課　TEL 20-0119
問 市防災安全課　TEL 34-0411

CATV（ケーブルテレビ）生活安全情報

結城市公式LINE

だまされない！諦めない！ 消費生活の知恵

- 消費者ホットライン TEL 188（イヤヤ）
- 市消費生活センター TEL 32-1161

令和7年度 消費者啓発標語・イラスト入選作品

標語作品

賞	学校名	学年	氏　名	啓　発　標　語
入選	城南小学校	5年	山田 明志人	うまい話 のらない 聞かない あるわけない
佳作	結城小学校	5年	荒井 紫乃	「だいじょうぶ」 そんな自信で だまされる
佳作	結城西小学校	4年	小倉 美香	しっかりと うたがい持って サギ防止
佳作	上山川小学校	5年	綱本 結月	家電(いえでん)は る守番電話で サギ対さく
佳作	山川小学校	6年	久保野谷 理奈	電話での お金の話 すべて詐欺
佳作	江川北小学校	4年	深谷 志帆	リスクない もうけ話に ご用心
佳作	江川南小学校	6年	一ツ木 琉生	いりません きっぱり断る その勇気

イラスト作品

《入選》

結城小6年
岩田 琉愛
「悪質な情報に気をつけろ」

《佳作》

結城小6年
大出 楓河
「サギ電話」

城西小6年　細野 倖生
「見えぬ相手にご用心」

We Love ゆうき
協働でつくる
みんなで つくる まちのこと
未来

問 市まちづくり協働課　TEL 54-7008

\ガク/ \チカ/
学生時代に力を入れたことは何ですか？
をキーワードに
学習によるつながり
づくりをしています。

地域の“担い手”を増やそう！

～「地域福祉の担い手養成講座Ⅳ」を開催～

本市の将来を担う人づくりを目的として、学生が「地域福祉」や「地域づくり」を学ぶ講座を開催しました。地域活動の実践者に、活動内容や想いなどをインタビューし、その成果を面接形式で発表することで、自分の考えを言葉で表現する力を磨きました。

終了後には「将来は地域に貢献したい」との声が多数聞かれ、“人のつながり”の大切さを改めて学ぶ機会となりました。

新春特別編集のため、広告枠を集約して掲載しています

相続 相談受付中
ご予約はこちらから
☎0296-48-8875
※事情によりお断りさせていただくこともございます。
LINEからもご予約いただけます
筑西市乙828番3 SATOHビル2階
（JR水戸線下館駅南口徒歩1分）
弁護士法人 萩原総合法律事務所
茨城県弁護士会所属
弁護士 萩原慎二 ／ 平久真 ／岩間和貴 ／和賀京介

駆除 蜂・害獣
駆除ワーカーズは4年連続 No.1
日本マーケティングリサーチ機構調べ
0120-438-497

ボロボロでもOK！他社で断られた家もご相談ください！
空家・古家 買取致します
・不動産 ・売買
・賃貸 ・相続関係
お気軽にお問合せください！
Instagram 会社HP
有限会社 ナカサト
茨城県知事(4)6552 行政書士 中里雅之
☎ 0296-33-3220
nakasato3220@cc9.ne.jp
結城市結城13484

地方創生支援定期預金

取扱期間	2025年12月1日(月)～2026年2月27日(金)		
預金種類	スーパー定期預金		
契約対象	個人のお客様		
預入金額	20万円以上500万円以下		
預入期間	1年以上5年以下		
預金利率	1年	2～4年	5年
	0.35%	0.40%	0.50%

ご契約の方に20万円を1口として、『ばんどう太郎のドレッシング』もしくは『見陽学園のカレー』を抽選で250名様にプレゼント！（ATM定期預金でも対象となります）
※投資信託の購入された方からも抽選で50名様にプレゼントします。
（詳しくは営業担当または窓口まで）
結城信用金庫 本店営業部 ☎(32)2111 南支店兼城南支店 ☎(33)3171

無料体験受付中

日本泳法協会
ささはら水泳塾
〒307-0001 結城市結城486-12
☎0296-33-1521
日本水泳連盟最優秀クラブ表彰校

見積無料！ 一級畳製作技能士のいる店
たつぼりたたみ店
茨城県結城市大字結城253番地
☎ 0296-33-2685 ✉ t.tatami.grn@gmail.com
“畳のことならたつぼりたたみ店へ！”
当店は江戸時代より
地元大切町で畳業を営んでおります。
小さなことでもぜひお気軽にご相談ください。
公式SNSはこちら

Corporation AQua Tech
浄化槽の保守点検は アクアテックにおまかせ！
価格に自信あり!!
詳しくはホームページへ

☎ 0120-055-524 本社 筑西市榎生1-2-10

地上デジタル 111ch
祝 はたちのつどい特集
1月26日（月）～2月1日（日）
【放送時間】
10:00 ～ / 22:00 ～
※予告なく変更となる場合があります。ご了承ください。
ご視聴希望の方は下記までお問合せください！
ケーブルテレビ結城 0120-00-0794

身近な法律問題のご相談、ご予約随時受付中です。
どうぞお気軽にお問い合わせください。
※下記3分野は初回30分無料！
債務整理/交通事故/相続・遺言
※事情によりお受けできないこともございます。
ご予約はお電話・予約フォーム・LINEにて受付けております
予約フォーム LINE友だち追加
0296-30-5600
電話受付時間：平日 9:00 ～ 17:30
つくばね法律事務所
茨城県下妻市大園木2839-1 大建ビル2階
【国道294号線沿い・やすらぎの里しもつま隣り】
茨城県弁護士会所属：関 健太郎・門井 節夫・飯塚 夏樹・山本 大介

SENAMI GAKUIN
FOR YOUR FUTURE
下館校 筑西市乙924 ☎0296-25-0001
下妻校 下妻市小野子町1-66 ☎0296-43-2000
結城校 結城市下り松3-2-4 ☎0296-48-6828
古河校 古河市本町1-2-12階 ☎050-5799-8378
お問い合わせ・お申込みはホームページのメールフォームまたはお電話にてご連絡ください。
https://www.senami.co.jp/
結城校 生徒募集中
校舎見学会 随時開催
中学受検コース 対象：小4～小6
集団授業コース 対象：中1～中3
2025年度 公立中高一貫校合格実績
下館一高附属中 23名 下妻一高附属中 20名
2025年度 高校合格実績
水戸一高 1名 土浦一高 1名 下館一高 44名 下妻一高 35名